

2017年5月1日

血液腫瘍内科に通院中の多発性骨髄腫の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫において好中球対リンパ球比がバイオマーカーとなる可能性について

《研究機関名》 関西医科大学附属病院

《研究責任者》 中谷 綾 内科学第一講座・診療講師

《研究の目的》 びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫において好中球対リンパ球比が予後予測因子となるか調べる。

《研究期間》 承認日～平成29年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

平成18年1月1日～平成27年12月31日の間にびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫で治療を患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、病期、好中球数、リンパ球数、予後因子、治療内容、副作用、治療効果

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《個人情報について》

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。

《利益相反について》

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究の研究活動は、関西医科大学内科学第一講座の教室費により行います。また、本研究の研究者は、「学校法人関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従い、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

大阪府枚方市新町2-3-1

関西医科大学附属病院 血液腫瘍内科 担当医師 中谷 綾・東 由子

電話 072-804-0101 (代表)